各級陸上無線技術士
各級特殊無線技士
（第一級海上特殊無線技士は除く）

免許申請のご案内

申請に必要な書類

国家試験合格者

- □ 無線従事者免許申請書
- □ 氏名及び生年月日を証する書類
- □ 手数料（1,750円分の収入印紙）
- □ 写真（縦30mm×横24mm）
- □ 返信先（住所、氏名等）を記載し、切手をちょう付した返信用封筒
  （免許証の郵送を希望する場合のみ）

養成課程修了者

- □ 無線従事者免許申請書
- □ 氏名及び生年月日を証する書類
- □ 手数料（1,750円分の収入印紙）
- □ 写真（縦30mm×横24mm）
- □ 養成課程修了証明書
- □ 返信先（住所、氏名等）を記載し、切手をちょう付した返信用封筒
  （免許証の郵送を希望する場合のみ）

資格・業務経歴保有者

- □ 無線従事者免許申請書
- □ 氏名及び生年月日を証する書類
- □ 手数料（1,750円分の収入印紙）
- □ 写真（縦30mm×横24mm）
- □ 業務経歴証明書
- □ 認定講習修了証明書
  （認定講習修了者のみ）
- □ 返信先（住所、氏名等）を記載し、切手をちょう付した返信用封筒
  （免許証の郵送を希望する場合のみ）

学校卒業者

- □ 無線従事者免許申請書
- □ 氏名及び生年月日を証する書類
- □ 手数料（1,750円分の収入印紙）
- □ 写真（縦30mm×横24mm）
- □ 科目履修証明書
- □ 卒業証明書
- □ 履修内容証明書
  （科目確認を受けていない学校を卒業した場合）
- □ 返信先（住所、氏名等）を記載し、切手をちょう付した返信用封筒
  （免許証の郵送を希望する場合のみ）

氏名及び生年月日を証する書類の例※1

（いずれもコピー不可）

- ・住民票の写し※2、※3
- ・戸籍抄本
- ・印鑑登録証明書
- ・住民票記載事項証明書※2

※1 書類は返却できません。返却されなくても支障のない書類の送付をお願いいたします。
※2 住民票の写し、住民票記載事項証明書を提出する際は、「個人番号」が印字されていないものをご準備ください。
※3 自治体から交付されたものが「住民票の写し」です。コピーすることなく原本をお送りください。

住民票コード、無線従事者免許証、電気通信主任技術者資格者証、工事担任者資格者証の番号のいずれか1つを申請書の所定欄に記載した場合は、書類の提出を省略することができます。
ただし、番号を記載していただいても、氏名、生年月日が確認できない場合には、書類の提出をお願いする場合もあります。

申請書類の提出先

国家試験合格者

- ・合格した国家試験の受験地を管轄する総合通信局等
- ・住所地を管轄する総合通信局等

養成課程修了者

- ・養成課程を実施した場所を管轄する総合通信局等
- ・住所地を管轄する総合通信局等

資格・業務経歴保有者、学校卒業者

- ・認定講習課程を実施した場所を管轄する総合通信局等
- ・卒業した学校の所在地を管轄する総合通信局等
- ・住所地を管轄する総合通信局等

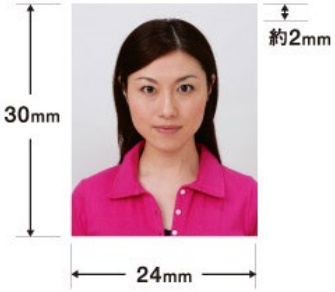
総合通信局等の所在地

北海道総合通信局	〒０６０－８７９５	北海道札幌市北区北８条西２－１－１　札幌第１合同庁舎	011-709-2311（内線4615）
東北総合通信局	〒９８０－８７９５	宮城県仙台市青葉区本町３－２－２３　仙台第２合同庁舎	０２２－２２１－０６６６
関東総合通信局	〒１０２－８７９５	東京都千代田区九段南１－２－１　九段第３合同庁舎	０３－６２３８－１７４９
信越総合通信局	〒３８０－８７９５	長野県長野市旭町１１０８　長野第１合同庁舎	０２６－２３４－９９６７
北陸総合通信局	〒９２０－８７９５	石川県金沢市広坂２－２－６０　金沢広坂合同庁舎	０７６－２３３－４４６１
東海総合通信局	〒４６１－８７９５	愛知県名古屋市東区白壁１－１５－１　名古屋合同庁舎第３号館	０５２－９７１－９１８６
近畿総合通信局	〒５４０－８７９５	大阪府大阪市中央区大手前１－５－４４　大阪合同庁舎第１号館	０６－６９４２－８５５０
中国総合通信局	〒７３０－８７９５	広島県広島市中区東白島町１９－３６	０８２－２２２－３３５３
四国総合通信局	〒７９０－８７９５	愛媛県松山市味酒町２－１４－４	０８９－９３６－５０１３
九州総合通信局	〒８６０－８７９５	熊本県熊本市西区春日２－１０－１	０９６－３２６－７８４６
沖縄総合通信事務所	〒９００－８７９５	沖縄県那覇市旭町１－９　カフーナ旭橋Ｂ街区　５Ｆ	０９８－８６５－２３１５

免許証用の写真について

無線従事者の申請に使用する写真は、無線従事者規則により下記の大きさとなっています。
また、写真はそのまま免許証に転写されますので、以下の「適当な写真例」、「不適当な写真例」を参考に写真を提出してください。

〇適当な写真例



・上三分身のもの
・申請者本人のみが撮影されたもの
・6ヶ月以内に撮影されたもの
・縁なしで各寸法を満たしたもの
・無帽で正面を向いたもの
・背景、影がないもの

×不適当な写真例（不適当な写真であった場合は、再度提出をお願いする場合があります。）

記入例

申請する資格名を記入してください。

・1,750円分の収入印紙をちょう付してください。
・この欄に貼りきれないときは、裏面下部にはってください。
・規定額以上ちょう付するときは、余白に「過納承諾　氏名」と記載してください。
＜例＞1800円分の収入印紙をちょう付するとき…
50円過納承諾　鈴木太郎

□免許　にレ印を記入してください。

写真をちょう付してください。

・ 氏名は、住民票の写しや戸籍抄本などに記載された氏名の文字で記入してください。

・ 外国籍の方のうち、漢字氏名の方は日本人に準じ、姓名の欄に漢字にて記入してください。
それ以外の方は、氏名欄の姓名の区別にとらわれず、アルファベットで明瞭に姓名の欄に記入してください。

無線従事者 ※☑免許 □免許証再交付 申請書

総務大臣（　　）殿　　令和〇年 〇月 〇日

収入印紙ちょう付欄

（この欄に貼りきれないときは、他を裏面下部にはってください。また、申請者は消印しないでください）

（収入印紙を必要額を超えてはっている場合は、申請書の余白に「過納承諾　氏名」のように記入してください）

（はりきれないときは裏面下部へ）

申請資格	第〇級××特殊無線技士
氏名 フリガナ(姓)	スズキ
氏名 (名)	タロウ
氏名 漢字 (姓)	鈴木
氏名 (名)	太郎
生年月日	平成 2 年 4 月 1 日
住所	〒100－0013 東京都千代田区霞が関２－２ 霞が関アパートメント１０２
住所	電話 〇〇〇（〇〇〇）〇〇〇〇 日中の連絡先 〇〇〇（〇〇〇）〇〇〇〇 メールアドレス 〇〇〇@××××.△△

無線通信士、第一級海上特殊無線技士、アマチュア無線技士にあっては、ヘボン式ローマ字による氏名が免許証に併記されます。非ヘボン式ローマ字による氏名表記を希望する場合に限り、□にレ印を記入し、下欄に活字体大文字で記入してください。　非ヘボン式を希望します。※→□

記入しないでください

LAST NAME(姓)　(活字体大文字で記入)　FIRST NAME(名)

写真ちょう付欄
1 申請者本人が写っているもの
2 正面、無帽、無背景、上三分身で6ヶ月以内に撮影されたもの
3 縦30mm×横24mm
4 写真は免許証に転写されるのでしわやはみ出さないようにはってください

所持人自署
無線通信士、第一級海上特殊無線技士の場合は必ず署名してください。

記入しないでください

（この署名は免許証にそのまま転写されますから、枠にかかったり、はみ出ないようにしてください。）

レ印を記入してください。

☑※ 無線従事者規則第46条の規定により、免許を受けたいので（別紙書類を添えて）申請します。　□※ 同時にアマチュア局に係る申請書を提出します。

該当する項目を記入してください。

国家試験合格	受験番号 〇〇〇〇〇〇		（平成 〇 年 〇 月 〇 日合格）	
養成課程修了	認定施設者の名称 修了証明書の番号		実施場所（市区町村名） （　　年　　月　　日修了）	
資格、業務経歴等	現に有する資格		修了した認定講習	
	資格		講習の種別	
	免許証の番号		修了番号	
	免許の年月日		修了年月日	
学校卒業	学校卒業で資格を取得しようとする場合は□にレ印を記入してください。※→□			
欠格事由の有無	無線従事者規則第45条第1項各号のいずれかに該当しますか。（いずれかの□にレ印を必ず記入してください。）			

※ □はい
（該当する場合はその内容）
☑いいえ

該当する枠内にレ印を必ず記入してください。
「はい」に該当する方は、あらかじめ総合通信局等へご相談ください。

下の欄に住民票コード又は現に有する無線従事者免許証、電気通信主任技術者資格者証若しくは工事担任者資格者証の番号のいずれか1つを記入した場合は、氏名及び生年月日を証する書類の提出を省略することができます。

（左詰めで記入）

※ 記入した番号の種類（いずれかの□にレ印を記入してください。）
□ 住民票コード
□ 無線従事者免許証の番号
□ 電気通信主任技術者資格者証の番号
□ 工事担任者資格者証の番号

住民票コード、無線従事者免許証、電気通信主任技術者資格者証、工事担任者資格者証の番号を記入する場合は左詰めで記入し、該当する枠内にレ印を記入してください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9		

＜例＞

A	B	H	A	0	9	9	9	9		

A	B	A	9	9	9					

なお、免許証等に－（ハイフン）がある場合はそれも含めて記入してください。

＜例＞

A	B	H	A	0	9	9	9	9	－	2

無線従事者規則第45条第1項各号とは以下に該当する者のことをいい、免許が与えられない場合があります。

- 電波法に違反して、罰金刑以上の刑に処せられたことがある者
- 無線従事者の免許を取り消されたことがある者
- 精神の機能の障害により無線従事者の業務を適正に行うに当たって必要な認知、判断及び意思疎通を適切に行うことができない者
- 視覚、聴覚、音声機能または言語機能の障害により無線従事者の業務を適正に行うに当たって必要な認知、判断及び意思疎通を適切に行うことができない者（第三級陸上特殊無線技士を除く）

により、免許証の再交付を受けたいので（別紙書類を添えて）申請します。　□※同時にアマチュア局に係る申請書を提出します。

損、破損したため
ったため
名を変更したため

記入しないでください

氏名を変更した場合は、右の欄に変更前の氏名を記入してください。→ 変更前の氏名　フリガナ　漢字

ボールペンで記入してください。ただし、※のある欄では□枠内にレ印を記入してください。
写真や所持人自署欄に折り目をつけたり、署名が枠にかかったり、はみ出ないようにしてください。
です。

及び生年月日を証する書類
証明書等、氏名及び生年月日を証する書類
経歴証明書、修了証明書（認定講習を受講した場合に限る。）、氏名及び生年月日を証する書類
履修証明書、履修内容証明書（科目確認を受けていない学校を卒業した場合に限る。）、卒業証明書、及び生年月日を証する書類
証、氏名の変更の事実を証する書類
、又は破損した免許証

免許証の郵送を希望するときは所要の郵便切手をはり、申請者の郵便番号、住所及び氏名を記載した返信用封筒を添えて、信書便の場合はそれに準じた方法により申請してください。

（用紙は日本産業規格A列4番・白色）